

平成31年4月現在の豚コレラとアフリカ豚コレラ情勢

- ◆4月、新たに岐阜県で2例、愛知県で3例の発生が確認され、野生いのししの陽性事例も続いています。
- ◆アフリカ豚コレラも中国、モンゴル、ベトナム、カンボジアと発生地域が拡大し、国内侵入が懸念されます。
- ◆情勢の把握と早期発見、早期通報に努めてください。

日本での豚コレラ発生経過

- 岐阜県の養豚農場で発生 (9/9)
- 岐阜県で死亡イノシシ初の陽性事例 (9/14)
- 愛知県で捕獲イノシシで陽性事例 (12/19)
- 愛知県の養豚農場で発生 (2/6)
- この農場から別の愛知県の農場、長野県、岐阜県、滋賀県、大阪府の農場へ豚の移動に伴い発生以降愛知県、岐阜県の養豚農場で継続的に発生 (計14件)

3月下旬から岐阜県、愛知県で野生いのしし用の経口ワクチンの設置が1年間を目処に開始されています



4/30現在の発生状況

48農場、3施設 (関連農場施設含む)
 死亡・捕獲いのししの陽性頭数385頭
 (内訳：岐阜県372頭、愛知県13頭)



中国アフリカ豚コレラ情勢

22省、5自治区、4市
 156か所 (H30.8.3~)
 ※中国からの旅行者が日本に持ち込んだソーセージや生餃子からアフリカ豚コレラウイルス遺伝子が次々に検出されています

モンゴルの発生状況
 11か所 (H31.1.9~)

ベトナムの発生状況
 211か所 (H31.2.1~)

カンボジアの発生状況
 4か所 (H31.3.22~)